



「議論」は怖いもの？

校長 曾山 志保

今年の夏休みも、子どもたちや職員が元気でいてくれたことや無事に2学期をスタートすることができたことに感謝の気持ちでいっぱいです。これも、保護者や地域の皆様の夏休み期間中の子どもたちへの温かな見守りのおかげです。本当にありがとうございました。2学期は、運動会をはじめとする子どもたちが楽しんでいる行事がたくさんあります。まだまだ新型コロナウイルス感染禍の中ですが、十分に感染対策を行い、工夫改善しながら行事を含む教育活動を進めてまいります。感染状況によっては、感染拡大を防ぐために、何かと制限を課さなければならないことも出てくるかと思われまます。子どもたちが最後に「楽しい2学期だったな。」と充実感を味わうことができるよう職員一同努力して参りますので、その旨、何卒ご理解いただき、御協力くださいますようお願い申し上げます。

さて、この夏、気になるニュースが一つ。「議論が怖いので、多数決じゃだめですか？」

NHKのニュースで取り上げられていたのですが、ある大学で学生たちに「話し合って決めてください」と言うと、いきなり「LINEで投票しようか？」と議論を避けることがここ数年多いとのこと。主な理由は、下記のとおりです。

- 意見交換したところで結論は変わらないから時間の無駄だから
- 多数派に合わせるのが良しという文化だから
- 意見を言うと否定されてしまい、自分自身を否定された感じを受けて怖くなった
- 自分の考えを主張すると一瞬で全体の雰囲気や気まずくなったから
- 自分よりも知識が多い人に対して議論するのは、言い負かされそうだから

ある大学教授はこのような状況を「『議論』のもつイメージが『意見を主張し合う場』として見られているからではないか。」と分析していました。そして、「『議論』は本来、他の人と論議しながら意見をともに作っていくのが『議論』。本来の『議論』というものを体験していくとその良さや楽しさを理解していくのではないだろうか。」とも話されていました。このことから考えると、将来を担っていく子どもたちにとって、自分の考えが伝えられる「発表力」と友達の意見の良さや自分の考えとの比較ができる「聞く力」を備えておくことはとても大切なことであると感じました。現在、小学校では、「対話的な学びの活動」を授業の中に取り入れています。この「発表力」と「聞く力」につながる「対話」という活動を大事にしていきたいです。

7月26日に「日置市子ども議会」が開催されました。テーマ「未来へのメッセージ～笑顔あふれる日置市～」を受けて、6・5年生それぞれの考えを出し合い、それらを花田小の意見としてまとめたものを、代表となった6年児童が議場で発表しました。議会を終えた児童が「緊張したけれど、楽しかったです。」と言っていました。この「楽しかった」という言葉の中には、その場のことだけでなく、クラスの様々な意見を1つにまとめる作業や他校の児童・生徒の意見・発表に接するなど全ての活動に対して「楽しかった」であろうと思います。これからも子どもたちが未来をよりよく生きていく力に繋がっていく「議論(話し合い)が楽しい」と思える体験をさせていきたいと思いました。

※裏面に6年生の原稿を掲載してあります。



「ひお吉くんの力で笑顔あふれる日置市へ」

日置市は「歴史の町 自然の町 スポーツの町」だと思う。島津義弘や小松帯刀をはじめとする偉大な歴史上の人物。豊かな自然を生かした、ちりめん、アスパラガス、イチゴ等の漁業や農業。吹上浜は全国有数のウミガメの産卵地でもある。そして、立派な体育館や陸上競技場。海ではサーフィンもできる。

わたしたちの地域では、松露再生活動や正円の池の整備、第1、第3日曜日の農産物市の開催等を行い地域おこしにつなげている。人を呼び込んで地域を活性化しようとがんばっているが、その良さを上手にPRできていないような気がする。きっと、日置市の他の地域も同じような現状があるのではないだろうか。人が集まれば、笑顔が生まれるはずだ。

そこで私は「ひお吉くんの力で笑顔あふれる日置市へ」を提言したい。先日、修学旅行に行ってきたが、どこに行ってもくまモンだらけだった。見ているだけでどこかほっこりいやされて笑顔になる。つつい商品に手が伸びる。足を運びたくなる。PRがとても上手だと思った。くまモンの力は絶大だと思った。日置市には、ひお吉くんがいる。わたしたちは知っているが、全国的には無名だし、県内でも無名かもしれない。

そこでまず、島津四兄弟のように兄弟をつくって、ひお吉くんがそれぞれの地域に住むことを提案したい。くた島に住んでいるのは身近さを感じない。住むだけでなく、朝はスクールガードのみなさんと一緒に毎朝街頭に立ってわたしたち市民の安全を見守る。雨の日も風の日も夏の暑い日にも。きっと通勤途中のみなさんも笑顔になるはずだ。また、日中は特に意味もなく公園でくつろいだり町をぶらぶらしたりしてほしい。子供たちやお年寄りの話し相手や遊び相手になれば、笑顔があふれることまちがいなしだし活気も生まれるだろう。きっと話題になってテレビにも取り上げられたりSNSで拡散されたりするのではないだろうか。日置市やひお吉くんのPRにもつながると思う。

さらに、今はオファーを待つのではなく、行事やイベントがあれば、自ら現れて場を盛り上げてほしい。鹿屋市では「カンパチロー」が運動会やイベントに引っ張りだこだそう。頭のかぶり物以外はスーツ姿で、とても身軽だという。動きにくいのであれば、ひお吉くんもモデルチェンジしてもよいのではないか。「いつでもどこでもひお吉くん」で、子供たちからお年寄りまでみんなを笑顔にできると思う。このように、ひお吉くんの有効活用こそが、活気ある日置市の未来につながるのではないだろうか。

そこで質問です。現在、ひお吉くんをどのように活用していますか。また、モデルチェンジの予定はありますか。くたじまに住んでいるということですが、日置市のPRのためには、引っ越してきたほうがよいと思うのですが、引っ越しの予定はありますか。以上3点です。よろしくをお願いします。

PTA 奉仕作業

9月行事予定

- 1～4日 いじめ問題を考える週間
- 1日(木) 始業式、大掃除等、あいさつの日
- 2日(金) 家庭教育学級・学級PTA
- 5日(月) 校納金引落日
- 5～9日 クローバー週間
- 9日(金) もちひっばれ(1・2年)
- 10日(土) 土曜授業 生きもの調査(3～6年)
- 11日(日) 吹上中学校体育大会
- 19日(月) 敬老の日
- 20日(火) 運動会予行練習
- 22日(木) 運動会会場準備
- 23日(金) 秋分の日
- 25日(日) 花田小運動会(午前開催)*雨天順延
- 26日(月) 振替休日(運動会予備日)

10月行事予定

- 3日(月) あいさつの日 校納金引落日
校内読書月間(～31日)
- 4日(火) 身体測定
- 6日(木) 稲刈り(予定)
- 8日(土) 土曜授業
小中一貫(地域貢献活動 母校貢献)
- 12日～14日 教育相談週間
- 28日(金) 秋の生活科・社会科・総合見学

◎ しばらく暑さが続きます。熱中症対策をしっかりさせてください。
また、感染症予防・対策も引き続き、お願いいたします。

21日に延期になったPTA奉仕作業が、28日にありました。今回は、コロナ感染者が急増したため男性保護者と職員という規模を縮小して行いました。地域の方々にもご協力をいただきました。日頃なかなかできない場所の草刈りをしていただき、学校の内外が見違えるほどきれいになりました。子どもたちが、2学期を気持ちよくスタートできます。暑い中、ご協力ありがとうございました。



ウミガメ放流

校庭のふ化場に最初の卵が入れられてから、約60日かけて8月1日の夕方に初めてふ化し、2日と3日に続けてふ化しました。8月1日にふ化した子ガメたちは前PTA会長の内田さんが、現PTAの皆さんに連絡してくださり、集まることのできた方々で放流しました。2日は、吹上中学校生徒会の皆さんのご協力のもと放流しました。



306匹
放流
しました